

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし、
全国で組織建設と拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

コロナ理由の犠牲転嫁ゆるさず

136支部分会に有額回答 組合員平均60万1000円(2.22カ月)



日本IBM本社前(上)、とダイレイ本社前(下)

6月23日、金属反合共同行動がおこなわれ、
争議をたたかう各支部・争議団の勝利をめざす
本社前抗議・支援行動がおこなわれました。

JMITUの夏季一時金のたたかいは6月25日現在、136支部分会で有額回答を引き出し、全国の回答額平均は支部分会平均581,554円(1.95カ月)、組合員平均601,065円(2.22カ月)となっています。今年の夏季闘争は、コロナ禍を口実に大手企業の一時金額が大幅に下がるなかでたたかわれました。

JMITUは「一時金は賃金の後払いであり生活費」「まともな一時金なしでは生活を維持できない」と主張。産別団交など統一闘争を強め、納得いく回答を求めたかいました。同時期との比較では支部平均で▲4,360円、組合員平均で▲19,312円となり昨年同時期の水準を下回っているものの、26支部分会で2次回答以上を引き出すなど、ねばり強いたたかいをおこないました。

多くのところが妥結・妥結方向となっていますが、納得できる一時金をめざしなお少なくないところで回答上積み、回答引き出しを求め、たたかいを継続しています。



争議勝利へ金属反合共同行動

解雇や差別などとたたかうJMITUの支部などが加盟し、争議解決へ共同行動をおこなっている金属反合の共同行動が6月23日におこなわれました。

パワハラ降格裁判、定年後再雇用賃金差別裁判などたたかう日本IBM支部、継続雇用者の雇止めとたたかう千葉・三和機材支部、Kさんの解雇撤回をたたかう東京北部地域支部ダイレイの各争議勝利めざし、本社前での抗議・支援行動をおこないました。

オリンピックより国民の命を！

全労連など緊急行動よびかけ 都庁前では中止デモ



全労連は6月24日、日本民医連などととも記者会見し、医療・介護・保健所を本気で充実させるため、9月5日を山場に「いのちを守る緊急行動」の実施を発表しました(写真左)。

小畑全労連議長は「医療の充実を求める『いのち署名』のひろがり」に反し、先の国会では病床削減や高齢者の窓口負担倍化などが強行された。国立病院削減反対、保健所増設など要求し署名や行動を展開していく」とのべました。

「オリンピックより命を」

五輪は中止・再延期 60%

菅首相がG7でオリンピック開催を宣言し開催が既成事実化されていますが、それでも東京都民の6割がいまも「中止・延期」を求めています。「朝日」の東京都民世論調査(6月26~27日)では、五輪「中止」33%、「再び延期」27%と、「中止・延期」が60%に及んでいます。また開催する場合でも64%が「観客なしで行うべき」と答えています。

「オリンピックより国民の命を」が世論となっています。



五輪中止かかけ都庁前でデモ(24日) =時事ドットコムより

五輪は中止しコロナ対策に集中を！—JMITU 中央委員会で決議

JMITUは6月5日の中央委員会で「五輪は中止しコロナ対策に集中を！ 菅内閣退陣、市民と野党の共闘で新たな政治の実現をめざす決議」を採択しました。

決議では、「今日の事態は、『医療がひっ迫する』としてPCR検査を抑え続け、ワクチン接種にも出遅れる一方で、オリンピックだけは強引に実施しようとする菅政権による人災。いのちを犠牲にしてまでやる意味があるのか。政府はただちに『五輪返上』を決断し、コロナ対策に集中すべき」と強調しています。

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。